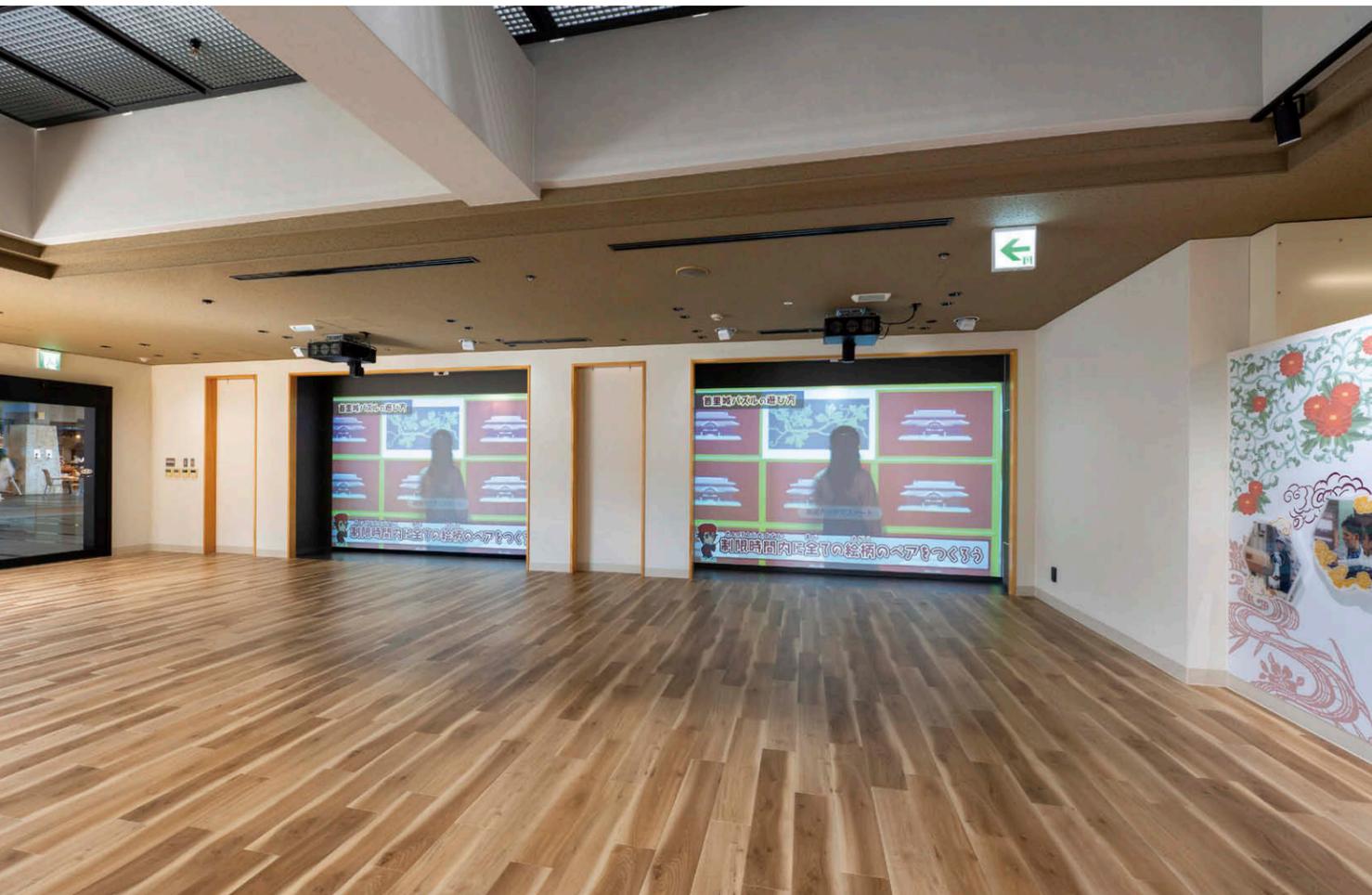


沖縄県那覇市にある首里城公園のインフォメーションセンターである首里杜館が、首里城復興の一環として改修され、2023年12月、新たにレビューホールがオープン。来館者に壁面にタッチすることを促すデジタルコンテンツが導入され、ウイルス感染症対策として接触感染リスクを抑えるUVee(ユービー)が採用されました。

数多い沖縄の観光スポットの中でも真っ先に挙げられる首里城公園。そのインフォメーションセンターであり休憩所でもある首里杜館は、2019年の火災による焼失は免れましたが、現在進められている首里城全体の復興計画に沿って部分的な修繕工事が行われてきました。レビューホールの新設もその一環であり、デジタル技術を活用した情報提供の場として2023年の12月にオープンしました。



【物件概要】  
所在地：沖縄県那覇市首里金城町 首里城公園敷地内  
構造・規模：鉄筋コンクリート造、地上1階地下3階建  
レビューホールフロア面積：206㎡  
導入時期：2023年9月



首里杜館1階レビューホール 2面あるデジタルコンテンツ(インタラクティブプロジェクションマッピング)投影部に向けて計4台のUVeeが紫外線を照射。



正面から見たUV照射対象のデジタルコンテンツ画面。



デジタルコンテンツコーナーの奥にはコンセプト展示コーナーを設置。



UVee設置状況 4,000×2,700mmの投影面をしっかりとカバーするようにUVeeを配置。



プロジェクターの左右に配置されたUVee。

今回の首里杜館改修工事にあたり、新設されたレビューホールにUVeeユニバーサルダウンライトタイプの導入を提案していただいた環境設計国建の金城 潤 様にお話を伺いました。



株式会社 環境設計国建  
設備設計部  
金城 潤 様

### UVeeがデジタルコンテンツの投影面に向けてUV照射。来館者が接触感染の不安なく楽しめる場を実現。

—はじめに、首里杜館について教えてください。  
金城 首里杜館は首里城公園のインフォメーションセンターで、首里城守礼門の手前に立つ情報展示と休憩のための施設です。首里杜館の名前は首里城の建つ丘全体がかつて鬱蒼とした森に包まれた聖地のような存在であり「すいむい」と呼ばれたことに由来するそうです。館内には、総合案内所の他、ガイダンスホールやレビューホール、レストランや売店があり、地下は駐車場になっています。  
—首里杜館の改修はどのような理由で行われてきたのでしょうか。  
金城 2019年10月に火災にあった首里城では現在復興事業が進められていますが、2026年

に予定されている正殿の完成まで長い時間がかかることから、その間も来訪者に楽しんでいただくため「見せる復興」をテーマにさまざまな取り組みが行われています。その一環として首里杜館でも新たなデジタル技術を活用したガイダンスホールやレビューホールの整備が進められました。  
—今回UVeeが設置されたレビューホールとはどのようなスペースですか。  
金城 もともと情報展示室があった位置に新たに設けられたスペースで、首里城を訪れる方がより首里城への造詣を深めていただけるよう考えられ、デジタル技術を活用した楽しく情報取得ができる場所となっています。また、復興

に関わる「人」をテーマにしたコンセプト展示もあり、復興の機運醸成を高める演出もされています。空間としては、パーティションで区切ってセミナーなどにも活用できるようになっています。  
—導入されたデジタル技術とはどのようなものでしょうか。  
金城 今回導入されたのは、インタラクティブプロジェクションマッピングと呼ばれる壁面投影型のデジタルコンテンツで、プロジェクターにより壁面にコンテンツが投影され、投影された映像をタッチパネル操作のように触れることでコンテンツが展開していくものです。現在は、首里城に関する歴史や文化の情報を、楽しみながら学べるコンテンツが用意されています。  
—そこにUVeeを導入した経緯を教えてください。  
金城 不特定多数の観光客が立ち寄る首里杜館では、コロナ禍においてウイルス感染症の拡大防止を図るためさまざまな施策が採られてきましたが、5類移行後の現在も感染症に対す

る警戒は継続されています。今回導入されたデジタルコンテンツは、壁面をタッチして遊びながら学ぶものであるため、接触感染リスクの視点から除菌およびウイルス不活化の方法について検討が必要になりました。私どもでは今帰仁村新庁舎でのUVee採用経験もあったので、今回の首里杜館レビューホールでも、有人環境でも紫外線照射ができるUVeeの導入を提案させていただきました。  
—具体的にはどのようにUVeeが使われていますか。  
金城 デジタルコンテンツの投影部は幅4m、高さ2.7mの大画面となっており、それが2面並べて設けられています。UVeeは1つの投影面に対して2台、壁面の投影部から1.23mの距離に配置しています。コンテンツはつねに投影されており、投影面の前には来館者が集まるため、自動運転モードに設定されています。施工にあたっては、プロジェクターのメーカーにコンテンツの投影光とUVeeの照射光が重なっても大丈夫か確認するなど、器具の取付位置に気を遣うとともに、天井の器具配置がバラバラにならないよう、器具同士の芯を揃えて配置しました。  
—UVeeを導入したレビューホールの今後についてはいかがでしょうか。  
金城 UVeeの効果は見えないので評価されにくいと思いますが、レビューホールを利用する多くの方に、安心してコンテンツを楽しんでいただきたいです。首里杜館での体験も、沖縄の、首里城の、よい思い出の1ページに加えていただけたら嬉しいですね。

(2023年11月30日 取材)

主な掲載器具一覧		器具名 (品名)	形名	台数	備考
設置場所	屋内	ウイルス抑制・除菌用 UV 照射器 UVee ユニバーサルダウンライトタイプ	UV-CU01007K-LS9	4	消費電力:19.3W (100V)